



書籍のご案内

生物産業学のフロンティア ～フィールド研究と地域連携～

978-4-7827-0731-9 C3077

東京農業大学副学長 渡部俊弘・東京農業大学生物産業学部長 黒瀬秀久 監修
東京農業大学生物産業学部 編

B5・並製・144頁/定価2,376円(本体2,200円)

東京農業大学建学の祖・榎本武揚先生の蝦夷地開拓にはじまるフロンティア精神を受け継ぐ生物産業学部。オホーツクキャンパス開設以来、四半世紀にわたり貫いてきた実学主義による教育・研究の成果と、新たな時代に向けた人材育成像をまとめたこのテキストは、生物産業学部在学生の教科書としても用いられており、地域活性化とその持続的発展のあり方を学ぶ至極の一冊です。

【目次】

生物産業学と生物産業学部の歴史・原点/いま生物産業学を学ぶ意義/生物産業学における研究方法/学科横断的な実学教育プログラム/生物産業学に貢献できる人材輩出を目指して

ご購入は三共出版ホームページからお願いいたします。http://www.sankyoshuppan.co.jp/detail.php?id=616

受験生イベントのご案内

キャンパスツアー

厚木キャンパス (予約不要・入退場自由)

5/31(日)

受付時間 10:00～15:00

世田谷キャンパス (予約不要・入退場自由)

5/24(日) 6/14(日)

受付時間 10:00～15:00

オホーツク キャンパスツアー in 収穫祭

学園祭「収穫祭」に合わせて開催します

※交通費の一部補助制度があります
(受験生・保護者対象)

10/11(日).12(祝)

受付時間 10:00～15:00 (要申込)

オープンキャンパス

厚木キャンパス (予約不要・入退場自由)

8/1(土) 2(日)

受付時間 10:00～17:00

世田谷キャンパス (予約不要・入退場自由)

8/2(日) 8/3(月)

受付時間 10:00～17:00

オホーツクキャンパス (要申込)

※交通費の一部補助制度があります
(受験生・保護者対象)

7/25(土) 7/26(日)

受付時間 10:00～16:00

世田谷キャンパス収穫祭 進学説明会

世田谷キャンパス収穫祭に
オホーツクキャンパスコーナーを設置します

10/31(土) 11/1(日)

受付時間 10:00～16:00

(予約不要・入退場自由)

東京農業大学 生物産業学部

オホーツクキャンパス



オホーツクキャンパス事務局入試課

〒099-2493 北海道網走市八坂196

☎0152-48-3814

E-mail nyushi01@bioindustry.nodai.ac.jp

生物産業学部ホームページ

<http://www.bioindustry.nodai.ac.jp>

《榎本記念スカラシップ》「榎本武揚 フロンティア入試」 始まる

— 冒険は最良の師である、
来たれ北の挑戦者たち —

東京農業大学 TOKYO UNIVERSITY OF AGRICULTURE
生物産業学部
FACULTY OF BIOINDUSTRY
オホーツクキャンパス

2016年度(平成28年度)より、
生物産業学部は新たな自己推薦型入試を実施します。

《榎本記念スカラシップ》

榎本武揚フロンティア入試

榎本先生のチャレンジ精神やフロンティアスピリットに共鳴する学生を広く募集するため、生物産業学部では2016年度(平成28年度)から「榎本武揚フロンティア入試」を実施します。榎本先生は、オランダ留学を通じて「冒険は最良の師である」という格言を残し私たちに伝えています。グローバル化が進む社会に生きつつ他方でのローカル化を考える、すなわち国際的な視点に立って地域活性化の実現をめざす受験生のみならず、近代の万能人とよばれた榎本先生の精神、そして農大精神を継承し、北海道の大地で新たなフロンティアを築く学びを求め、ぜひこの入試にチャレンジしてください。

東京農業大学・建学の祖 榎本武揚先生とは

「科学する心」と「冒険心」をあわせもった万能人

榎本武揚先生(1836～1908年)は幕臣の家に生まれ、12歳で幕府の昌平坂学問所に入塾し儒学を学びました。26歳のとき幕府初の海外留学生に選ばれオランダに留学。4年余の間に洋式海軍技術、国際法、農業、工業などを学び、蘭・仏・独の3ヵ国語を身につけました。

留学への航路では、ボルネオ島沖で船が難破し、命からがらボートで無人島に上陸。通りかかったオランダ船に救助され航海を続け、インド洋や喜望峯をまわる大航海中には、洋上や寄航先で生物の生態系もつづさに記録。大西洋を北上してオランダに上陸したのは、出航から324日目のことでした。

榎本先生が後に多くの国家事業を担う原動力となったのが、留学で得た「科学する心」と、その後も体験する「冒険」の歴史でした。帰国後まもなく戊辰戦争によって幕府は倒れ、明治新政府が発足。しかし明治初期の日本にあって、榎本先生は近代科学の知識と国際感覚をもつ時代の先駆者であり、万能の人ともよばれました。

明治政府の要職を歴任～東京農業大学の創設

その類まれなる豊かな才能を惜しんだ明治政府の要請によって、榎本先生は農商務大臣、文部大臣、外務大臣などの要職を歴任。1875(明治8)年には、全権特命大使としてロシアに渡り、「樺太・千島交換条約」を締結させます。そして帰国の途は、シベリア大陸を横断する陸路を選択。当時は鉄道もなく道路も未整備で大部分は荒野でした。ウラジオストックまでの2ヵ月は、悪天候、悪路と戦い命がけで大自然を探索する冒険の旅でした。

留学や政府の激務を通じて諸外国の産業を視察した榎本先生は、日本が国際社会で競争できる国力をもつためには、安定した農業生産力の発展が欠かせないと考えました。そして1891(明治24)年に自ら創設した育英農学校(現在の東京農業大学)は、近代農業の技術を国内各地に広めるリーダーたちを育成するという、高い目標を掲げる学校でした。



榎本武揚

1836～1908

榎本イズムと東京農大の軌跡

- 1891(明治24)年 育英農学校が設立
- 1893(明治26)年 育英農から独立し、私立東京農学校と改称
- 1925(大正14)年 大学令により東京農業大学となる
- 1931(昭和6)年 樺太(現ロシア領サハリン)に寒冷地農場を開設し、世界最北地での初の稲栽培に成功
- 1982(昭和57)年 網走市内に寒冷地農場を開設し、本格的な地域連携をスタート
- 1989(平成元年)年 オホーツクキャンパス開設、生物産業学部が開校

実学主義の提言

当時、官立(国立)の農学校が理論優先の教育をおこなっていたのに対し、榎本先生は「教育とは、セオリー(理論)とプラクティクス(実践)の二者が車の両輪のように並び行われることで、はじめて完全なものとなる」とし、実習を重視する教育の必要性を強く唱えました。しかし、理論を実証するための実習には作業上の幾多の困難ともないます。困難を乗り越える挑戦がいかに人を大きく成長させるか、そのことを誰より熟知する榎本先生ならではの未来を予見した提言でした。

多忙な公務にもかかわらず、学生が校外実習に出るときには、彼らの身分証明書のすべてを自らの手書きによって発行したといえます。榎本先生の掲げた理念は「実学主義」の草分けとなり、120年以上を経たいまも、東京農業大学の教育の原点として力強く受け継がれています。

● 募集人員およびスカラシップについて

● 募集人員

生物産業学部全体で合計 20名

※この入試制度の合格者20名に対しスカラシップが給付されます。

- Aランク 入学金(270,000円) & 授業料半額(330,000円) …… 免除 5名
- Bランク 入学金(270,000円) …… 免除 15名

● 出願資格

下記の1)～4)のいずれも満たす者

- 1) 生物産業学部のアドミッションポリシーをよく理解し、北海道オホーツクで学生生活を送ろうという強いフロンティア精神・チャレンジ精神を持つ者で生物産業学部を第一志望とする者。
- 2) 平成28年3月高等学校(中等教育学校含む)卒業見込みの者および平成27年3月卒業の者。
- 3) オホーツクキャンパスのオープンキャンパスに参加もしくは個別訪問(要申込)した者(訪問時にエントリーシートを受領、後日エントリーシートによる仮出願)。※エントリーシート配布対象者は28年度出願資格のある者とする。
- 4) 全体の評定平均値が3.3以上の者。

※生物産業学部アドミッションポリシー

生物産業学部は食料自給や環境保全など人類共通の課題に興味を持ち、問題解決に向けて意欲的にチャレンジし、生物産業の発展に寄与すると共に、広く社会に貢献できる人を求めている。

- (1) 学部の教育目標の下で、生物産業学を修める意欲のある人。
- (2) 高校卒業程度の基礎学力を確実に修得している人。
- (3) 健全な人間関係の構築を可能にするコミュニケーション能力を有する人。
- (4) 地域や社会に貢献しようとする強い意志、広い視野、明確な問題意識を有する人。

● 応募から合格発表まで

行程	日程	詳細
エントリーシート配布期間	平成27年 7月25日(土)～9月4日(金)	・7月25日(土)26日(日)オホーツクオープンキャンパスにて配布。 ・以降9月4日(金)まで、キャンパスを個別訪問(要申込)にて配布。
エントリーシート提出期間 (検定料不要)	平成27年 8月24日(月)～9月4日(金)	【主な記載事項】 ・志望学科(第1～第3希望)・榎本フロンティア入試を受験した理由 ・冒険をしたエピソード・入学後に学びたい内容と卒業後の進路
書類選考合格発表	平成27年 9月11日(金)	
出願期間(検定料支払)	平成27年 9月21日(月)～9月25日(金)	エントリーシートに基づく書類選考をし、合格者は出願手続きへ
1次選考試験	平成27年 10月3日(土)	【試験会場】世田谷・オホーツクキャンパス ・小論文(60分800字程度) ・グループ面接(複数面接員による集団面接)
1次選考試験合格発表	平成27年 10月7日(水)	1次試験合格者は2次試験へ
2次選考試験	平成27年 10月17日(土)	【試験会場】世田谷・オホーツクキャンパス ・プレゼンテーション(1人約10分程度)・小面接
合格発表	平成27年 10月23日(金)	電話・WEBによる合否案内システム
入学手続期間	平成27年 10月23日(金)～11月6日(金)	郵送のみ(消印有効)

● お問い合わせ/個別訪問申し込み等

東京農業大学オホーツクキャンパス事務部 入試課 (TEL:0152-48-3814)